

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 05020070

政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	7 高齢者支援の充実	事業優先度	B	
単位施策	2 生活支援の充実	政策事務分類	2 単独自治事務(個別計画)	
事業名	除雪サービス事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	5 保健福祉課	
事業主体	雄武町社会福祉協議会	関係課	#N/A	
事業指標	除雪サービスの実施		#N/A	
事業目標	円滑な実施	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	有	関係例規・法令名	無	
住民協働	有 社会福祉協議会から雄武ノースクリエイティブ事業協同組合等へ実施委託	関係個別計画名	有 雄武町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計画 内容	ひとり暮らしの高齢者等、冬期間の除雪労力が困難な世帯の緊急避難路確保を目的として、社会福祉協議会が実施する除排雪事業に対して補助を行う。	事業実施の補助を行う。	事業実施の補助を行う。	事業実施の補助を行う。	事業実施の補助を行う。	事業実施の補助を行う。
	事業費(千円)	4,000	800	800	800	800
計画 事業費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	4,000	800	800	800	800	
実績 事業費	事業費(千円)	800	800	0	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	800	800				
関連 事項	特定財源の名称	【評価・実績】	(実施内容等) 除雪サービス事業補助金 (社会福祉協議会への事業補助) 上限額 800千円	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
			※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	円滑な実施	円滑な実施	円滑な実施	円滑な実施
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	100%	0%	0%	0%
		全体達成率	20%	20%	20%	20%
	事業進捗状況	☆☆☆☆				

事業名 除雪サービス事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	豊田通敏
	評価者 作成者 職氏名	社会福祉係長	内宮真希

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	除雪労力が困難な世帯	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	除雪労力が困難な世帯に対する緊急避難路の確保
【抱える課題やニーズは】	人口の高齢化が進み、ひとり暮らしの高齢者の増加も予想され、ニーズが高まると考えられる。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	住み慣れた地域で安心して暮らせるように、冬期間の緊急避難路を確保する。	① 必要経費の補助	目標年度 平成25年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	冬期間の緊急避難路が確保されることで高齢者の不安が解消され、地域で安心して暮らしていくことができる。		目標値 800千円
			実績値 800千円
			達成度 100.0%
		②	目標年度 平成25年度
			目標値
			実績値
			達成度 #DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	補助金の交付	雄武町社会福祉協議会へ除雪サービス事業に係る必要経費の補助金を交付した。	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	ひとり暮らしの高齢者等、冬期間の除雪労力に乏しい世帯の緊急避難路確保策として、除雪サービスはニーズが高く、事業展開するうえで支援の必要性は高い。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	緊急避難路の確保を必要とする世帯の生活維持を図るべく、事業主体へ支援することは有効である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	社会福祉協議会は必要最小限の路線のみ除雪サービスを展開しており、補助上限額も設定していることから適当と判断している。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

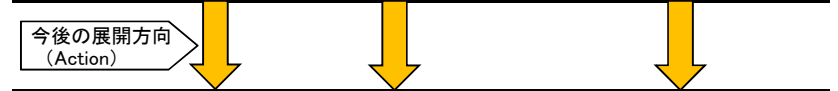
公平	判断の理由	受益者負担はないが、除雪サービスを必要とする世帯に対し実施しているため公平と判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>A</b>		
除雪労力の乏しい、ひとり暮らしの高齢者等にとって、緊急避難路の確保は生活維持の面からも必要性が高い事業であり、その支援を行うことは、町民の生活及び福祉の向上を図るものとして適当である。		



継続/現状維持		
ひとり暮らしの高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、生活路線確保という観点から、町の支援は必要であり、近年、需要世帯が増えてきているが、当面は現状維持で継続したい。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
  - 終了 ○休止 ○廃止